

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり作成の報告がありました。

## 第 5 回 中山間地域振興特別委員会記録

日 時 平成 30 年 5 月 25 日 (金)

15 時 20 分～16 時 57 分

場 所 第 4 委 員 会 室

【出席者】 飛野委員長 布施副委員長 三浦委員 西川委員 川上委員 柳楽委員  
串崎委員 上野委員 岡本委員 芦谷委員 永見委員

【議長団】

【事務局】 小川局長 新関係長

### 議 題

#### 1. 集落機能の維持対策について

- …… 資料 1 過疎地域等条件不利地域における集落等の現況把握調査の  
浜田市データ (町内ごと) 抜粋
- …… 資料 2 雲城地区住民アンケート結果

地域担当制の担当者自身から話を聞く機会を検討することとなる。

#### 2. 先進地視察について

7 月 12 日 (木) 10 時～11 時 30 分 雲南市 14 時～15 時 30 分 安芸高田市

日程については朝早くから夕方まで一日仕事になることを了承。  
具体的な質問事項を 6 月 15 日までに事務局へ提出することを了承。

#### 3. その他

○次回開催 7 月 23 日 (月) 13 時 30 分 全協室

飛野委員長

ただいまから第 5 回中山間地域振興特別委員会を開催します。一応 1 時間半程度の会議と考えています。

### 議題 1. 集落機能の維持対策について

飛野委員長

議題 1 について、資料 1 を準備いただいたので、この説明からお願いします。

小川局長

( 以下、資料をもとに説明 )

飛野委員長

非常に詳しい浜田市のデータでした。この分析はこの場では時間の都合もあるのでやりませんが、特に聞いておきたいことがあればお願いします。芦谷委員。

芦谷委員

これの元データの表はどこで作っているのか。

小川局長

国土交通省が作って各市町村に下ろして、そこに入力したものを再度吸い上げて、それを全国集計たのが前回配ったあの分析表になります。

芦谷委員

例えば平地等を見るとえらく乱暴で、例えば長浜で言えば山の上の町内が皆平地になっている。これは恐らく相当詳しく見ないといけないと思った。感想です。

もう 1 点、大事なのは、これに前にあったような、小さな拠点づくりはどこでやっているのかということと、町内会、自治会がある・ない、まちづくり推進委員会がある・ない、それから自主防災組織、こういうのが分かれば、浜田市の人口やあれこれやと現状がよく分かると思いました。今言ったようなことが分かれば。

小川局長

今日配った資料の図面について説明させてください。まちづくり推進委員会の形成マップです。

( 以下、資料をもとに説明 )

飛野委員長

ありがとうございます。他にございませんか。永見委員。

永見委員

27 年の調査で、あれから 2 年経っている。それからの推移は分かりませんか。

小川局長

5 年に 1 回なので。次の調査は 32 年になると思います。

飛野委員長

少し私から。その表の右から 5 番目の、集落機能の維持状況です。2 番の機能低下と維持困難、合計すると 113 集落あります。このデータ全部で 610 集落あるので、約 20 パーセント近くが該当することになります。

永見委員から出たように、5 年に 1 回なので来年あたりにまた新しいのが出てくると思っていますが、そうするとまた随分悪い方へデータが変わっているのではないかというのを頭において、この表を見れば良いのではないかと思います。よろしいですか。

( 「はい」という声あり )

では資料 2、雲城地区住民アンケート結果です。この説明を、地元議員である川上委員からお願いします。

川上委員 ( 以下、資料をもとに説明 )

飛野委員長 はい、ありがとうございます。事務局からこれについて補足ありますか。

小川局長 ありません。

飛野委員長 今、大変熱のこもった実例の話がありました。何か聞いてみたいことがある。小さな里づくりについて。

川上委員 小さな里づくりについては、これまでもあちこちで既に発表会もしています。浜田でもやっています。

飛野委員長 私たちも勉強のつもりで、もし分からない部分があればお聞きしたいと思います。

川上委員 近々またありますので。ただ、特に言いたいのは、雲城では「見える化事業」として、このことを住民にオープンにして、何をしているのか、ということをやろうとしています。それが大事だと思っています。

飛野委員長 布施副委員長。

布施副委員長 雲城のまちづくり推進委員会や公民館の取り組みは良く分かりますが、残りの19ヶ所ですか……。

川上議員 実を言うと既に良い例があります。伊木、青原、金田、新開と、現在四つがうまく進みつつあります。

布施副委員長 その中で残りの地区については事例が、小さな里づくりでやっておられるわけなので、他地区に浸透させるために川上委員も一緒に力を出しながら、同じ地域の問題点をこのアンケートで繋がれば、やっていこうではないかということを言われていると思います。その動きは同時進行でやっておられるのですか。

川上委員 同時進行です。このことに関しては、まちづくり委員会の会議の時、公民館運営会議の時、等々を使ってやっています。今年は何の程度やろうということ話し合っただけだったので、それについての一町内ごとの企画会議を、来月から始めます。好例として、ここがあれば隣と隣、どちらかが始めよう、というのを今考えています。隣をやればまた隣と増えていくので、そのためには、見える化事業でやろうということです。

布施副委員長 今その部分で、資料1のデータによると山間地で、人口減少はしているけど集落機能は良好だという事例でした。この資料を見ると。一番は雲城の中でも良好だけど、将来的に人口が下がって集落機能維持困難となる所に対しての取り組み方法というのは、まだこの辺から見ると同じ金城地区でも、雲城は今良好、でも集落機能が維持困難な所に対して同じことをやっていくように伝えていくことが大事だと思うのですが、その辺の取り組みは、まちづくり推進委員会で話しておられるのでしょうか。

川上委員 もう一つ良い資料があります。金城においては、まちづくり連絡会というのがあります。五つのまちづくり委員会がありますが、一緒になって問題点等をピックアップしています。その中で見える化事業を展開していこうとしています。

布施副委員長  
飛野委員長

分かりました。

他に何か聞いてみたいことがある方はいませんか。その都度、何かあれば随時お聞きしていくことが起こるかもしれません。その時はよろしくをお願いします。

川上委員  
串崎副委員長  
布施副委員長  
川上委員  
飛野委員長  
柳楽委員  
飛野委員長  
柳楽委員  
西川委員

もう1点皆さんにお聞きしておきます。先般、良いタイミングで議会報告会がありました。その報告会の席上、特にお話が出てきた要素があれば、この場で発表をお願いします。川上委員。

自分も発表しましたが、国府では……国府の方はいますか。

自分が行った所のことだけ話してください。人の事はいいから。

では川上さん、金城と周布の話をお願いします。

そうですね……。

特になければいい結構です。

報告書が出ていますが。

特にこの場で参考になるようなことがあれば。

金城は中山間のことについてが、話に挙がらなかったのです。

金城はUIターン者、退職者の人が来られてすごく役に立つというか、若い方でなくても退職されてから戻ってこられた方が活躍されているという話をされていまして。そういう人を集めるような施策をしたらどうかという話でした。

布施副委員長  
西川委員  
飛野委員長  
芦谷委員

周布はなかったですね。

周布は中山間的には、ないですね。

芦谷委員。

弥栄ですが、一つだけ記憶にあるのは、どうしても自治区があつて、旧町村対市みたいな感じで、縄張りのような感覚があります。早くこの委員会の中で、市の一体性みたいな、それぞれ街場と中山間との機能分担だとか位置付け等を整理しないと、町村からすれば壁があつたり、といった話が出ました。

飛野委員長  
芦谷委員

地域の壁ですね。

はい。国府であれと思ったのは、色んな要望は一杯あるが、それをどこに、誰に言えば良いかが分からない。そもそもそういうのは、行政規模として持つておかないといけないのに、未だにそんなことを言う人がいらっしゃるということは、住民参加や市機能みたいな所が、国府に至っては機能していない感じがしました。

飛野委員長  
川上委員

川上委員。

国府の話に追加して良いですか。公民館が中心にあるけど、まちづくり委員会が公民館とのタイアップ等がないということ、公民館長自らがおっしゃいました。

もう1個。地域を前に進めるリーダーの育成について、考えてほしいというのがありました。これは良い話だなと思いました。

飛野委員長  
永見委員

他。永見委員。

旭としては、半分しか資料が手元にないんですが、二つグループを作

って、私が入った方のグループでの意見交換のテーマとしては、農地の荒廃、人口減少、防災関係、自治区制度、その中で自治区制度を選んで意見交換しました。

飛野委員長  
永見委員

美川の場合については、中山間地域の関係はありませんでしたが。特に集落機能等という部分はなかったですか。

なかったですね。これはもう一つのグループですが、UIターン者が入って来られる環境を作るとか、婚活について30代、40代の出会いの場がない、あたりが中山間地関係の話と言えます。それから雇用促進、これの有効活用ということで、地元には払い下げにならないか、という話がありました。

飛野委員長  
布施副委員長  
永見委員  
飛野委員長  
三浦委員

雇用促進。

雇用促進住宅の有効活用でしょう。

はい。

三隅はどうですか。

三隅は、あまりなかったですよ。グループが二つに分かれたので、私がいた方は、駅前開発や火電のことだったので、いわゆる中山間地域の個別の課題は出てこなかったです。

上野委員

僕のグループでは井野の辺りの方が言われましたが、自分たちは一生懸命頑張っているが、行政の方は評価してくれているのか、というような話でした。

飛野委員長  
上野委員

頑張っている評価を。

お金に絡むことだが、まちづくりで車や色んなことに金を使っているなら、まちづくりの金がなくなったらどうなるのか、これから維持できないのではないかという。買い物等に車を借りているが。

飛野委員長  
上野委員  
飛野委員長  
川上委員

交通の問題ですね。

そうです。

川上委員。

旭について、反対側に私はいましたので。そこで三つばかり話が出ていました。農地再利用については導入を図っていませんということでした。新規就農者の状況も気になるようです。地区担当職員の配置を有効にしてほしいという話でした。

新開書記

職員担当制ですか。三隅と弥栄、それぞれやり方が若干違うと思います。

川上委員

少し考えて欲しいのかな。もう1個、旭と言えば独特な活動もされるみたいで、地域内の農道・農地の再検討をしたい。それを行政と農地所有者、農道利用者が現地へ行って確認して、良し悪しを求めたいということをするようです、今年9月以降に。多分これは中山間地に非常に有効なものだと思います。

飛野委員長  
川上委員  
西川委員

農地再検討ということは、現在の農地を検証ということですか。

現地へ行って、農道がどうだとか。

農地集積ということで、平成24年に農地保全プランというのをやっ

て、今年度再検討するという話をされてきました。

飛野委員長 農地の再検討、農道ではなくて。  
川上委員 農道も含めて。これについてはゼロ予算ベースでやるからよろしく、ということでした。

上野委員 市の農道等も皆舗装してあるでしょう。そこまでやったんで、ゼロ予算で皆に協力してもらおうという恰好だと思います。

飛野委員長 ちゃんとしたから集積しないか、と。  
川上委員 そういう話が出てました。  
西川委員 旭のイノシシ対策で、農地には補助があるけど住宅地には補助がなく、家に出てきたものが困るという話をされてきました。

飛野委員長 農災みたいなものが効かないわけですね。  
布施副委員長 課題と現状で色々出てくる。  
川上委員 非常に身につまされる話がいっぱい出ていました。市街地ではなく中間地から外側というのは、そういうのが大きな問題だろうと思います。市街地とはまた違う問題がある。

飛野委員長 広報広聴でまとめて回答するものがあったりすると思います。当委員会としても何か、どうしてもこの部分は回答か何かしてあげないといけない部分があるか、ないか。布施副委員長。

布施副委員長 金城で同じような質問で、中山間地域振興特別委員会ができていますが、金城地区において問題ありませんか、と班長が質問すると、ある住民の方が、先ほど西川委員が言われたように、UIターン者の施策については、しっかり委員さんも後押ししてほしいけど、自分たちは地域課題はもう分析できていて既に取り組んでいると。ありませんかと言われて、問題点を挙げればきりが無いのだけど、市民の代表として出ている議員さんが、しっかり自分らにフィードバックしてくれということでした。自分らが問題点は議員さんを通じて出しているのだと。今更聞かれてもいっぱいありすぎるし、議員さんが出されたものはまさしく自分らの問題だし、それをしっかり論議してくれ、と言われました。ですから当委員会から特別に声明を出すようなことはないなど、私は感じました。

飛野委員長 今からフリートークに入りますが、これもこれも同じ課題だと思ったので、議会報告会の内容についてお聞きしました。今からのフリートーク内に出てきても結構ですので、とりあえず議会報告会で出た内容については、ここまでとして進めていきたいと思います。

前回論議というか、自分の思ったことを聞く時間がなくなってしまい、まとめが難しくなっていますが、今日は今から時間を設けてフリートークを設けたいと思います。集落機能の維持対策に関わる課題ということで、一応17項目までまとめています。課題と現状の部分について、各自のご意見をお聞きしたいと思います。どんな順番でも結構です、まず意見のある方、思っていることをお話いただければ今後の参考にしたいと思います。西川委員。

西川委員 せっかく今日示していただいた浜田市のデータがあります。集落機能

状況の3番「維持困難」という所があります。これをピックアップしていくと、ある程度まとまった集落が見つかると思います。それぞれどんな問題があるか現地を調査して、そこから実際の問題を拾い上げるというのも良いのではないかと思いつきました。

飛野委員長  
芦谷委員

これについて皆さんで何かお考えありませんか。芦谷委員。

初めに言ったことがいまの西川委員の意見と関連するのだが、結局これを見て、個別の物は別としてデータとして、まちづくり推進委員会の有無、町内会・自治会がない所があると聞いています。そういった基本的なコミュニティの関係が分からないと前に進められないし、できればこの委員会では、執行部に提言等する場合にある程度執行部の背中を押すよう具体的な項目で提言したいと思うので。なぜ中山間地でやるのかと言えば、高齢化だの人口が進まないだの町内会がないだのといったことになるのだらうと思います。まちづくり推進委員会、町内会、自治会、小さな拠点づくりの指定の有無、自主防災組織といった物を、再度この資料に拾い上げて合併することが必要ではないかと思いました。

飛野委員長  
布施副委員長

布施副委員長。

論議なので少し言わせてもらいますが、自治会がない所は結構あります。各町内の問題点を、自治会を作って連携して問題意識を持って共に解決していこうという話がありますが、自治会ではなく町内で解決することが一杯あります。ですから、自治会ができてないからまちづくりができてないのではなく、町内会で処分できる部分が一杯あるわけです。それを中山間地域の問題として同じように捉えると、自治会がないから振興ができないという捉え方になるので、それはある程度外した方が。

自治防災組織は確かに必要ですが、できない所はなぜできないのかを掘り下げれば、過去の因縁とか、盆踊りでも必要ないという所が結構あります。自治会を作ることに拘らず、違う方向の論議をした方が良いと思います。

飛野委員長  
川上委員

ご意見としてお聞きします。その他。川上委員。

弥栄と三隅の地域担当職員にどんな機能を持たせているか、再度、私をお聞かせ願いたいんだけど。新開さん分かりますか。

新開書記  
川上委員

今の状態は分かりません。

それをどこかで聞かせてもらえないだろうか。なぜかと言えば、地域担当職員は有効にしている所もあります。邑南町等は各公民館に正規職員が配置されます。地域を引っ張っていくリーダーを作るリーダーとして。そういうことも必要だと。多分今はリーダーがないからそういう問題が起きてくるのだと思います。リーダーを作るために何をするかとなると、そういう論議も必要かと思えます。

布施副委員長

それは大事だと思います。ですから執行部との意見交換の時も、当然ながら地域担当制を引いている弥栄も三隅も、集落機能維持困難な所は結構多いですから、その人たちが担当者としてどう思っているのか。大体は地域リーダーがない所で維持困難が始まっていると思いますの

で、その人たちがどういう認識で担当しているのかを聞くのは大事だと思います。委員長、また職員の方の話が聞けるなら。

川上委員  
飛野委員長  
芦谷委員

ご意見を聞かせていただければと思います。

芦谷委員。

私も一般質問でずっとやっけていてある程度分かっているのですが、旭もやっけています。結局その欠陥は、各自治区考え方が銘々なんです。例えば時間外手当を出すかどうか知らないけれど、各自治区でやっけてから、できない所は仕方ないとしても全市1本で職員を応援してあげて、地域に入ってもらって仕組みを作らないと、各自治区の職員個人の思いだけでなさっているから全体のものになってないんですよ。特に三隅が一番良く進んでいると思います。色んな委員の役職があっても、したりしなかったりがあるし。地区担当制があっても制度として作らないといけないと思うのと、浜田自治区の場合ははっきり言って執行部がする気がない。職員がやれんやれんと言うからという感じなんです。だから地区担当制は良いけど、そんなバラバラな所へ向けて……それをこの委員会で言えば良いのかなと。

飛野委員長

参考までに、三隅の場合6地区あって、その職員全部配置しています。5、6名で割り振って班長、副班長、班員という形で、どこの地区で会議があったらこのメンバーの誰かが来て立ち合います。すると分からない部分がある場所です。一緒にやっけています。だから、この方々がいるからこそ物事が前に向かっていて、十分認識しています。大事なことです。

川上委員

ですので、よろしければそういう方々のご意見を拝聴したい。三隅だけでなく弥栄も併せて、聞かせていただければと思います。できればこの場でも結構です、皆さんと一緒に。中山間地をどうするかというテーマからは外れるかもしれませんが、それが大きいので、やらせていただければと思います。委員長お願いします。

飛野委員長

記録しました。逆に言うと、他の地域でできてない理由は何でしょう。なぜしないのか。三隅と弥栄はできているのに、他の所はなぜ同じことができない、しないのでしょうか。

上野委員

旭もあります、人員がどんどん減って。前は11自治会くらいありましたが、地元職員が担当職員としてやっけていたが、職員が減ったために困っているんです。

飛野委員長  
上野委員  
飛野委員長  
川上委員  
飛野委員長  
川上委員

人数が減ったから。

地元職員がいない。

川上委員。

三十数名いたのが今は20人程度ですよ。

そうですね、だから5、6人で割ったら全員参加になる。

しかも浜田から出向される方もおられるし、そうすると地元の者が本当に少なくなっています。その人らに自治会の総会や、あれに行ってくれとか言えないでしょう。



飛野委員長  
川上委員  
飛野委員長

ピンと来ないでしょうね。  
それでも行って聞けばいくらでも見えるはずだがな。  
地域が分からない人でも、浜田市共通の決まり事等は説明できるからね。

上野委員

お金の問題がどうなっているか、時間外がどうなっているか、その辺の問題ではないと思うが。

飛野委員長  
芦谷委員

芦谷委員。

3つの自治区の地域担当制の方に2人ずつくらい出てもらって、実情を話してもらうのが勉強になると思います。

飛野委員長  
芦谷委員  
川上委員  
布施副委員長

ここで。

はい、お招きして。

そうすればお互いに、状況が分かるのではないですかね。

来るのが可能でない場合は1人でも良いから、中山間地の現状を執行部側から聞くことも、執行部との意見交換があるから申し入れたら良いでしょう。浜田自治区は町内が多すぎるから担当者を決められないですよ、でも採用できる取り組みもあると思うんです。そのヒントを引き出すには良いと思います。

飛野委員長  
三浦委員

浜田も地域ごとにしっかり取り組んでもらったら良い。三浦委員。

以前島根県は、各市町村に島根県地域振興担当が県から1人ずつ配置されていきました。それを今やっている広域自治体は多分、高知県だけです。高知県は各市町村にまだ高知県の担当者がいて、県の施策と市町村の施策をきちんと擦り合わせながら業務を推進する役割を、県が割り振っている。その話のサイズを小さくすると、先ほどの話に通じるのかなと。例えば浜田市内の公民館に浜田市の職員が配置されるというのも、可能性的にはあると思います。先ほど飛野さんが紹介されたものは、会議があれば行くという話ではないですか。日常的なものではないので。日々の営みはあるので、住民に近い所に常に行政職員が伴走する体制を取った方が良いのではないかというのが、ヒアリングする中で出てきたら、最終的に中山間地域の問題、リーダーとして人を補完する仕組みまで提言できると良いと思いました。それは当委員会で議論すべき話だと思うし、そういったものが今後の自治区制度にも繋がると良いかなと。

飛野委員長  
芦谷委員

芦谷委員。

県の小さな拠点づくりというのがあります。浜田に何十カ所か指定してあります。そこには県職員さんが入っています。地区に。ヒアリングや世話をしに。県がやる分と市がやる分はリンクしているのだけど、なかなかチグハグだと思います。

飛野委員長  
三浦委員

県と市は必ず一対でいます。三浦委員。

多分3年前くらいに県民センターの地域振興セクションが、多分地区担当制を再度少しだけ戻した感じで、各地域に担当者が配置されているのだらうと思います。

飛野委員長

全部はできないのでいくらか絞って、それが当初いただいた資料の中

に載っていました。あれが、県が入っている部分だと思います。

川上委員

それを小さくして、浜田市で扱うべきだと私も思いますし、三浦さんもそう思っていると思います。それが中山間地域振興特別委員会の提言になるかもしれない。

飛野委員長

ですよね。三浦委員。

三浦委員

少し関連しますが、公民館の区割りが以前からすごく気になっていて。地域活動とまちづくり推進委員会と公民館との関係、先ほど国府の話でも出たように、公民館の役割、特に旧那賀郡の4エリアと浜田市内では、大分違うと思います。そこを単純に人口割りとか地区割りという話ではなく、公民館がそもそも持つべき役割等が地域のコミュニティとどういう関係性を持ち、どういうサポートをしていくかも一度どこかできちんと議論すべきではないかと。校区の話にもなってくるので、きりがなくなるのかもしれませんが、公民館がキーワードとして中山間地域活動においてフューチャーするべきではないかと思います。

飛野委員長

川上委員。

川上委員

いまのことに関しては旧国府町の奥は完全に中山間地なので、その辺も含めて考えなければと思います。国府だけでなく石見も奥の方、長見なんかは分かれてるのかな。

布施副委員長

長見は分館です。

川上委員

分館でも良いし、考慮する必要がある。

布施副委員長

三浦委員の言われた、公民館の区割りについては、特にまちづくりの時に合併して、旧那賀郡は公民館のまちづくりを中心にしていこうと先行的にやっておられました。浜田自治区は、人口はすごく多いのに石見公民館一つしかない、浜田公民館は市街地なのに原井から海まで広域的にある等、色んな弊害があつて公民館活動のまちづくりが機能しませんでした。貸館業務がほとんどで、公民館の機能を果たしてなかった。気づかせてもらったのが、合併してから気づかせてもらったのが、旧那賀郡部の公民館の活動だった。まちづくりのためには共通の課題を作ろうということで防災組織を作り、公民館で色んな活動をしよう気づいてやっていますが、中には石見公民館の分館がある所等は、小さな拠点づくりをしなければ維持できません。細谷にしても長見にしても佐野、宇津井にしても有福にしても、皆さん各々やっておられます。それ以外の中心市街地が、同じ石見公民館の中でできてない状態があるわけです。

最初に言ったように、問題点は各町内ではありますが、山間地と街中とでは持っている問題に非常に乖離があります。草刈り一つにしても、同じ距離でも街中と山間部とでは違います。公民館でそういう問題を話し合える時が今もありません。そういうことも含めて区割りを考えるのは大事だと思います。

飛野委員長

芦谷委員。

芦谷委員

公民館をコミセン化して自治会機能を持たせるというのが、大田、江津、益田皆やっている。浜田だけがしていない。2、3年前に教育委員

会の職員で話し合ったが、結局物別れに終わりました。町村の場合はややその感じに進んでいますが、旧浜田の場合は石見公民館、浜田公民館、分館の問題も含めて全然進んでないから、やはり公民館を中心にコミセン化をして、そこで全部地域の元気作りやそういうものを全部するような形に作り上げないと、今みたいに銘々なら永遠に無理だ。

飛野委員長  
布施副委員長  
飛野委員長

ちょっと話が。  
委員長どうぞ。

いまの話で、まちづくりの役割を公民館が受け付けなかったんですよね結局。取り組みが難しいと。今でもオーバーワークなのに、まちづくりの問題まではとてもとてもということで、結論が出ないままで終わってしまっています。何か根本的なことをしない限りは、公民館がまちづくりを取り組んでいくことは難しい、という部分で止まっていると私は思います。

芦谷委員

非正規の公民館主事を配置して、おまけに夜間・日曜お休みでは、絶対地域のことになりません。やはりきちんとした職員を配置して、そのサポートで非正規の人がいるなら良いけど、全部非正規の人を充てておいて時間で絞って、夜や日曜は開かないでしょう。

川上委員  
芦谷委員

それ以上です。今年度は時間カットですから。

そういう所から、地域を支える公民館みたいな位置付けにしてあげれば、前に進むと思います。

飛野委員長  
永見委員

永見委員。

公民館は、浜田も黒川も大きな公民館がありますが、その公民館の中でも、まちづくり委員会を作っておられる地域、田町なんか作っておられる。自主防災も立ち上げられた。それはどういう形でやっておられるのか。私どもは公民館を中心として、まちづくり委員会を地域一緒になってやっています。その辺りは公民館とどういう関わりになっているのかな。

布施副委員長

公民館主催ではないですね。長沢は長沢の、自治会の中で必要だということで、長沢でも4-2とか限られた所は自主防災組織を作っている所もありますし、できてない所もあるんです。だから公民館主体ではないです。岡本委員がおられる片庭は、浜田公民館の中でもしていこうということで、今取り組んでおられますが、そういう動きをされている所もあります。黒川の石見公民館の中で温度差があって、相生、竹迫、野原は三階まちづくりネットワークを作っちゃんとやっている所もありますし、長沢もあります。肝心要の石見公民館のある黒川はできていない状態。宇野と有福は近年できましたが、自主防災組織という名目で一緒になって、まちづくり推進委員会を作っている。接着剤になるためにまちづくり推進委員会や自主防災組織を立ち上げようという項目が多いです。公民館活動の中でやるのではなく自分らがやっという、リーダーシップが各町内におられて、同じ思いをされた所で組織ができて上がる。

飛野委員長  
岡本委員

岡本委員。

なぜ旧浜田市内では公民館を中心にできないかという、町内会がないからです。だからリーダーが存在せず、公民館を中心にまちづくりや自治防災ができない。私は片庭6町内です。約240世帯くらいありますが、これは完全に自主防災もやっているし、まちづくりみたいなことをやっているけど、あえて出していません。ただ、公民館長自体がうちの連合会のトップなので。隣の高田町は今まであったけど、次の世代が現れた時に喧嘩になってしまって、町内会長が辞任して町内会がなくなってしまった。近いところで殿町は、商店会は存在するけど殿町町内会はない。実際、活動をしているかと言えば、各々活動はしています。皆さんの中山間地域のような大きな課題はないんです。一つの現象として現れたのは、例えば葬儀ができなくなった。でも盆踊りはまだ残っている。例えばこの表では真っ白になっていますが、実際中心地は災害があったらどうするのかという問題は、地域では研究はしているけど、本当の不自由さは感じていないというのが事実だと思います。

それと町内会ができないことでネックになってくるのは、アパート・マンションが融合していかないのです。だから町内会で何かを組織しましょう、まちづくりしましょうという話にならないわけです。なぜこんなことになったかと言ったら、行政が水道料金や給食費等、集金常会制度を浜田市が振込に変えたためになくなってしまった。敬老会にも補助金が出ていましたが、全てなくなった。浜田公民館1本で充分だとした。そのしこりは我々より上の年代の人はずっと残っています。要は町内会ができない。

飛野委員長  
串崎委員

串崎委員。

公民館の話は重要なポイントだと思っています。弥栄には二つ公民館がありますが、管理職の職員を1人置くくらいの気持ちでなければやっていけない。旭なら2人かもしれませんが。全部の公民館に職員配置というわけにはいきませんが、管理職職員を配置しなければ守っていけないだろうと感じています。

もう1点。限界集落はどんどん家や人がいなくなっています。要するに小さな拠点と言いますが、住む所です。店があつて病院がある所に家を建てなければ。自分で住んだ所に住みたいわけなので、そうなってくれば土地を改修して家をぽんぽん作るよう働きかけていかなければ駄目だろうと私は思っています。

布施副委員長

串崎委員が言われたように、定住に繋がるような施策、金城でも言われましたよね。自分の息子も出ていくくらいだから、他所からの移住者を大事に思わないと逃げていってしまうと言われた。旧弥栄の定住対策で、25年住んだら家を貰える施策がありましたが、その制度を利用した人は今は住人になっています。人口減少問題には、各自治区の特徴を出しながら定住に繋がることをやっていくのが、大きな柱になるのではないのでしょうか。

飛野委員長  
三浦委員

三浦委員。

串崎がおっしゃった、家を建てるのはすごく大事です。その問題を考える時に、今空き家になっているものをどう処分するか、どう崩すかを一緒に考えないといけないと思います。新しい家を今1個建てると、空き家を1個増やしているのと同じ計算です。空き家問題を一方で抱えながら新しい住宅を建てるようなことを施策としてやってしまうと、結果的にまちとしては空き家を増やしてしまうことになるので、住みやすい環境を整えることと、空き家をどうするかは、片方だけ提言してもう片方に目をつぶるような話になってしまう。集落環境を整える意味で住宅を考える時に、空き家の問題を一緒に考えるような議論ができると良いと思いました。

飛野委員長  
串崎委員

串崎委員。

今のお考えはそうだと思いますが、元々考え方自体は、私がお願いしたいのはUIターンをこっちに入れるのではなく、今までそこで頑張られた方を対象にする気持ちが大事かなと思います。一生懸命頑張った方を優先する。そういう気持ちで考えていただければ、大変嬉しく感じています。

飛野委員長  
柳楽委員

意見が尽きない感じですが、一言言われますか。柳楽委員。

皆さんが言われることは本当にそうだろうと思いますが、いくらいいやり方を提案しても、そこに住んでいる皆さんがそういう気持ちにならなければ意味をなさないだろうと思います。色んなことを提案しながら、地域の方にまず考えてもらおう。まちづくりの組織はありますが、それは上の方で考えておられて、本当に末端まで繋がってはいないのが現状ではないかと思っています。一度地域の皆さんに、現状をどう思うか考えていただく。でないと言われてやった分は最終的に上手くいかないことが多い。他所でもそういうお話を聞いてきました。そうしたことができる体制を作っていくことが一つあるのかな、と思います。

飛野委員長

きりがなさそうなので、こういう議論はもう少し重ねる必要があると思っています。今日もだいぶ出てきました。今後とも課題については継続してやっていきたいと思っています。ですので今日のまとめはありませんが、継続してフリートークいく中で答えをみつけていこうと思います。

議題1はここで終わってよろしいでしょうか。

( 「はい」という声あり )

## 議題2. 先進地視察について

7月12日(木) 10時~11時30分 雲南市 14時~15時30分 安芸高田市

飛野委員長  
小川局長  
飛野委員長

議題2についてです。この件について説明をお願いします。

口頭説明。具体的な質問項目を6月15日までに提出してください。

説明がありました。この件について皆さんよろしいでしょうか。串崎委員。

串崎委員

帰りは5時半でよろしいですか。

小川局長  
串崎委員  
小川局長

高田インターに乗って帰っていただければ2時間くらいかと思えます。  
分かりました。

それと視察については、先日上野委員からもいただいた津和野の件についても、営農組織が全部一緒になってガソリンの配給などをやっておられると。旭のガソリンスタンドなくなりましたし、他もいつなくなるかわからな時代です。そこだけ回るわけにはちょっといかないの、皆さんからその近くで何か良い情報があれば、2ヶ所くらいで回りたく思いますので、もし情報があればください。

布施副委員長  
小川局長

日にちが決まったから、執行部との意見交換会も決めておかないと。

先日、正副委員長と話をしたのですが、スケジュール案では、7月に入ったら1回、プロジェクトチームとの意見交換会をして視察という話をしていましたが、意見交換は視察した結果を持ち帰ってから行った方が身になるのではないかとということで、順番を入れ替えてやりたいと思いますので、視察の後にプロジェクトチームとの会議を持ちたいと思います。次の会議の所に入っていますが、日程的には12日に視察なので、翌週からとなると、私に議長随同行の予定が多々入っているため、空いているのが17、20、23、27くらいしか。

岡本委員  
小川局長

今言われた日の中で、駄目な日を言えば良いのか。

そうですね。

(以下、日付について協議)

小川局長

議論をしっかりと欲しいので。今日も本当言えば午前中に終われば、1時から夕方までエンドレスで議論して欲しかったところですが、今日は3時過ぎになってしまったので。23日もできれば午後からやっエンドレスで夕方まで。今日みたいに色々な意見が聞けるとすごく良いなと思いつながら聞いていました。

飛野委員長  
小川局長

では23日13時30分。

全協室で。

### 議題3. その他

飛野委員長

他にどうでしょうか。

(「ありません」という声あり)

皆さんよろしいですか。

(「はい」という声あり)

では次回開催は7月23日13時30分です。その時もしっかり討議したいと思います。第5回特別委員会をこれで終了させていただきます。

(閉 議 16時57分)

浜田市議会委員会条例第65条第1項の規定により委員会記録を作成する。

中山間地域振興特別委員会 委員長 飛野 弘二 ㊞